

各常任委員会の報告

総務委員会

- ◆横瀬町とのちちぶ定住自立圏形成協定書の変更について
- ◆皆野町とのちちぶ定住自立圏形成協定書の変更について
- ◆長瀬町とのちちぶ定住自立圏形成協定書の変更について
- ◆小鹿野町とのちちぶ定住自立圏形成協定書の変更について
- ◆地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例
- ◆秩父市行政組織条例の一部を改正する条例
- ◆組織上、農業と林業は同一なものとして考え、産業として捉えることが適当ではないのか。
- ◆内部でも協議検討を重ね、今後は森林環境税も考慮の上、林業振興を環境部と位置づけた。
- ◆林業関係を環境に組み入れたことで、その展望と市民の不安に對してどのような考えか。また、組織上、県農林部や秩父農林振興センター等との「づれ」についてどのように考えているか。
- ◆部局の編成は9月ごろから原課と協議調整を行う中で、農と林を分けた。今後は、森づくり課及び農政課ともしっかり協議し、住民の方々に迷惑にならないようにしていきたい。
- ◆秩父市職員定数条例の一部を改

正する条例

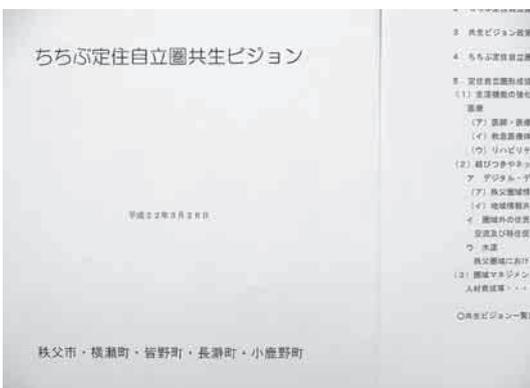
- ◆秩父市一般職員の給与に関する条例及び秩父市職員の勤務時間休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例
- ◆平成21年度秩父市一般会計補正予算(第4回)(所管費目)
- 以上9件は、原案のとおり可決
- ◆平成22年度秩父市一般会計予算(所管費目)
- ◆人権啓発活動委託金について説明してほしい。
- ◆熊谷秩父人権啓発活動地域ネットワーク協議会で、市内小学校14校にチューリップの球根配布。※人権推進事業費がまだにあること、森のキャンパスアドベンチャーコースの歳出に見合う歳入がないため反対する、との意見が出された。
- 挙手多数により可決

建設委員会

- ◆市道の廃止について
- ◆市道の認定について
- ◆市道の路線変更について
- 以上3件は、原案のとおり可決
- ◆秩父市手数料徴収条例の一部を改正する条例
- ※事務量の増大を理由により、審査手数料を引き上げるということは、建築主に負担をしわ寄せすることにはかならず、納得できない。また、住宅の着工戸数の増加促進などの経済対策の上からも、マイナスの要因にしなければならない。これらの理由から容認できない、との意見が出された。
- 挙手多数により可決
- ◆秩父市道路占用料徴収条例及び秩父市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例
- ◆平成21年度秩父市一般会計補正予算(第4回)(所管費目)
- ◆平成21年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第3回)
- ◆平成21年度秩父市水道事業会計補正予算(第3回)
- ◆平成22年度秩父市一般会計予算(所管費目)
- ◆除雪作業委託料を1,105万4千円計上されているが、先日の降雪時に対応の遅れた地区がみられたがこの予算で十分か。
- ◆除雪作業について53社に委託

し、延長距離216.6km、351路線を委託、除雪は国道、県道、市道の順で作業を行っている。

- ◆平成22年度秩父市下水道事業特別会計予算
- ◆平成22年度秩父市駐車場事業特別会計予算
- 以上7件は、原案のとおり可決
- ◆平成22年度秩父市水道事業会計予算
- ◆石綿管布設替え工事の進捗状況は。
- ◆平成22年度の計画終了後では秩父市全体の56.1%完了予定。敷設替え工事は平成32年度にはすべて終了する予定。
- ◆段階的に水道料が値上げになるが、値上げに見合った予算措置が取られているか。
- ◆値上げではなく合併時の協約により調整している。各地区に濁度計の設置、吉田地区では漏水が多く昨年度から配水管の敷設替えを行っている。
- ◆吉田・荒川・大滝地域の住民は水道料金に対する負担が大きくなる状況があり、それにも関わらず、水道水の濁りに対する十分な対策が予算上講じられていないと到底思えないので反対する、との意見が出された。
- 挙手多数により可決



ちちぶ定住自立圏共生ビジョン

各常任委員会の報告

生活産業委員会

- ◆指定管理者の指定について(秩父市バイクスクルモトクロス場)
- ◆秩父市やすらぎの丘条例の一部を改正する条例
- ◆秩父市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例

◆平成21年度秩父市一般会計補正予算(第4回)(所管費目)

○緑の分権改革推進事業の具体的な内容は。

答 国から100%の補助を受ける事業で、地域のクリーンエネルギーの賦存量の調査と事業展開のための実証調査を行うという内容である。具体的には利用間伐事業と林地残材搬出、チップや薪を作り消費する側へ供給することについての検討事業のほか、ペレットストーブや薪ストーブを公共施設等に設置し市民の意見を聞きながら消費側の需要開拓につなげるための実証試験を行う予定である。

◆平成22年度秩父市一般会計予算(所管費目)

○空き店舗対策事業補助金と商店街活性化推進事業補助金の内容

答 空き店舗対策事業補助金は、14年度からの事業で全部で46件の補助を行った。13年度当時の旧秩父市内の中心市街地活性化のエリアの地区で空き店舗を改装するという条件の方に補助金を交付し、

文教福祉委員会

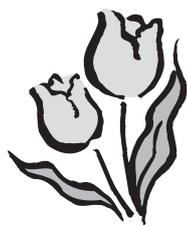
3分の1の補助で上限を30万円としている。22年度は8件分を計上。商店街活性化推進事業補助金は、宮側商店街振興組合、番場商店街振興組合、東町商店街協同組合、上野町商進会に対し、計351万円の補助金を交付する予定である。

※ネイチャールランド浦山を利用する人は秩父地域以外の人が多いし、浦山地区でお金を使うような場所が他にはあまりない状況でもあるので、今までかかった経費や維持管理費の面から考えると、ネイチャールランド浦山はやめることも含めて検討するべきだと思う、との意見が出された。

※各課において緊急雇用に関する事業を行っているが、今後採用する時には、雇用期間終了後にスムーズに次の仕事に移れるよう、それなりのフォローを行ってほしい、との意見が出された。

- ◆平成22年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算
- ◆平成22年度秩父市公設地方卸売市場特別会計予算

○以上8件は、原案のとおり可決



文教福祉委員会

◆秩父市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

○原案のとおり可決

◆秩父市のびのび子育て支援金支給条例及び秩父市出産褒賞金贈呈条例を廃止する条例

※出産褒賞金は子ども手当と性格が違うので、廃止することに反対との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆秩父市健康づくり推進協議会条例

○条例化の理由は。

答 合併時に要綱により定めたが、今後は明確化し、市の附属機関に。○原案のとおり可決

◆平成21年度秩父市一般会計補正予算(第4回)(所管費目)

※安心してできる施策を裏付ける予算になつていないので反対、との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆平成21年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)

◆平成21年度秩父市老人保健特別会計補正予算(第2回)

◆平成21年度秩父市介護保険特別会計補正予算(第3回)

◆平成21年度秩父市立病院事業会計補正予算(第4回)

◆平成22年度秩父市一般会計予算(所管費目)

○子ども手当給付事業と多子世帯子育て支援事業の詳細は。

帯子育て支援事業の詳細は。

答 子ども手当給付事業は約1億7千万円で、市の負担額は約1億2千万円であり、対象者の中学生までは約9千人である。6月から月額1万3千円給付する。多子世帯子育て支援事業の支給要件は、給食費の滞納のないことで、年2回に分けて口座振込みで支給する。

○以上5件は、原案のとおり可決

◆平成22年度秩父市国民健康保険特別会計予算

※窮屈な国保財政を放置すべきでないので反対との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆平成22年度秩父市老人保健特別会計予算

○原案のとおり可決

◆平成22年度秩父市後期高齢者医療特別会計予算

※制度そのものに反対、との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆平成22年度秩父市介護保険特別会計予算

※制度の改善が進まないため反対、との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆平成22年度秩父市立病院事業会計予算

○原案のとおり可決

〈請願〉

◆義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願

○採択